

各 私 立 学 校 長 様
(小・中・高)

岩手県総務部法務学事課私学・情報公開課長

福島県から岩手県へ避難している児童生徒に対する福島県教育委員会広報誌の配布
について

このことについて、別添写しのとおり福島県教育委員会教育長より通知がありましたので、
お知らせします。

なお、貴校に福島県から受入れしている避難児童生徒が在籍している場合は、本広報誌を配布
していただきますようお願いします。

また、本広報誌は、次のホームページでも参照することが出来ますので、不足する場合は、お
手数でも印刷のうえ児童生徒へ配付していただきますようご配慮をお願いします。

○岩手県私学関係通知

<http://www.pref.iwate.jp/view.rbz?cd=25963&ik=0&pn=14>

【担当】私学振興担当 小野寺

電話 019-629-5041 FAX019-629-5049

メールアドレス：hiro-onodera@pref.iwate.jp

この通知は下記のアドレスからもダウンロードできます。

<http://www.pref.iwate.jp/view.rbz?cd=25963&ik=0&pn=14>

福島県教育委員会文化施設の主な催し

福島の美しい自然や文化に触れ、福島のいにしえの人々の息吹を感じる事で、私たちに生きる勇気もたらされるのではないのでしょうか？ この秋も県教育委員会の文化施設では様々な企画で皆様のお越しをお待ちしています。(ご利用の際は、各館とも休館日・入館料等をホームページ等でご確認ください)

● 県立美術館 TEL.024 (531) 5511 [HP](#) [福島県立美術館](#) [検索](#)

「帰ってきた江戸絵画 ニューオーリンズギッター・コレクション展」

10月29日(土)～12月4日(日)

個性溢れる日本美術のコレクションの一つアメリカ・ニューオーリンズのギッター・コレクションから、近世絵画を中心とする優品を選び、日本で初めてその全容を紹介しします。



伊藤若冲達磨図

自然の家の利用案内

福島県自然の家は、年齢を問わず全ての人たちが利用でき、恵まれた自然環境の中で様々な体験活動を行うことができる社会教育施設です。

震災の影響を受け休所していましたが、相馬海浜自然の家を除いて再開しています。

皆様のご利用をお待ちしています。(一部利用に制限もありますので、詳しくは各自然の家のホームページをご覧ください)

[HP](#) [郡山自然の家](#) [検索](#)
TEL.024-957-2111

[HP](#) [会津自然の家](#) [検索](#)
TEL.0242-83-2480

[HP](#) [いわき海浜自然の家](#) [検索](#)
TEL.0246-32-7700
(※いわき海浜自然の家は11月から利用可能)

● 県立博物館 TEL.0242 (28) 6000 [HP](#) [福島県立博物館](#) [検索](#)

秋の企画展

「生誕400年記念保科正之の時代」

10月8日(土)～11月27日(日)

保科正之の生誕400年を記念して、正之の生涯をたどり、幕府や会津藩の基礎固めをした業績を見つめ直します。



徳川家康感状

● 福島県文化財センター白河館まほろん TEL.0248 (21) 0700 [HP](#) [まほろん](#) [検索](#)

収蔵資料展

「まほろん収蔵の器の変遷」

11月26日(土)～2月19日(日)

入館無料

福島県の原始・古代の土器や石器などの器の時代ごとの移り変わりを展示して、本県の地域性や各時代の容器の特徴を紹介しします。ぜひご覧ください。



一ノ堰B土器

福島県奨学資金緊急採用制度のお知らせ

被災や家計支持者の失業・死亡等により家計が急変し、修学困難となった高校生・専修学校(高等課程)生を対象に、奨学資金を貸与します。詳しくは、在学する学校または学習指導課(電話024-521-7775)までお問い合わせください。



「気づきを支援へ、そして、笑顔へ」

障がいがある、または、発達が気になる乳幼児から小学生・中学生・高校生までの保護者や教員の相談にお答えします。専門の巡回相談員が支援にあたります。なお、震災で避難している方も、現在お住まいの地区で相談が受けられます。(受付時間) 月曜日～金曜日 10:00～17:00

問い合わせ先

県北地区にお住まいの方	024-523-1653 (県北教育事務所)
県中地区にお住まいの方	024-935-1493 (県中教育事務所)
県南地区にお住まいの方	0248-23-1667 (県南教育事務所)
会津地区にお住まいの方	0242-29-5486 (会津教育事務所)
南会津地区にお住まいの方	0241-62-5255 (南会津教育事務所)
相双地区にお住まいの方	0244-26-1314 (相双教育事務所)
いわき地区にお住まいの方	0246-24-6215 (いわき教育事務所)

ここから下の段は広告です。掲載の広告は県教育委員会の事業とは関係ありません。

こども型

0歳～満17歳のお子様をしっかり保障します

全国の加入者数 **289万人**
平成23年7月末現在

大切な
お子様の
備えに

月掛金は
1,000円
2,000円

日帰り
入院や手術
も保障

ケガの通院も
1日目から
保障

第三者への
損害賠償にも
共済金

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

助けあいの心から生まれた保障

県民共済

お問い合わせと資料のご請求は

共済取扱団体 福島県認可 **福島県民共済生活協同組合**
〒960-8031 福島市栄町6-6 NBFユニックスビル9F

0120-282-869

☎024(524)1400 **福島県民共済** [検索](#)
【受付時間】平日 9:00～17:00
共済元受団体/厚生労働省認可 全国生活協同組合連合会

ふくしま教育ニュース第37号 平成23年10月28日発行 発行 福島県教育委員会 編集 福島県教育庁教育総務課 福島県福島市杉妻町2番16号 電話(024)521-7759 FAX(024)521-7969



ふくしま教育ニュース

2011年10月 第37号 編集・発行 福島県教育委員会

教育環境の復旧・復興に取り組んでいます

東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故は、福島県の教育環境にも大きな影響を及ぼしました。福島県教育委員会では、一刻も早く教育環境の復旧・復興に取り組むとともに、「“ふくしまの和”で奏でる、こころ豊かなたくましい人づくり」の基本理念のもと、未来を担う子どもたちの育成に努めてまいります。

元どおりの学舎へ

小野高校
第1体育館の
復旧状況
(6月15日現在)



小野高校第1体育館の
被害状況(4月15日現在)

ふるさとの仲間たちと



全校集会で、震災以来久しぶりに一堂に会した生徒たち(富岡高校)

校舎等の復旧状況

被災した県立学校の校舎等については、応急の復旧工事等を実施しています。今後、国の災害査定を受けながら、補修、建替等の復旧方針を定め、できる限り年度内の工事着手を目指しており、早期完成に向けて全力で取り組んでいます。

相双地区サテライト校の今

相双地区10校(うち分校2校)の県立高校の学習機会確保のために、避難生徒の多い地区を中心に協力校等を指定し、「サテライト校」を開設しています。県教育委員会では通学費等の支援や就職促進支援員、スクールカウンセラーの配置など、サテライト校の生徒へのきめ細かい支援に努めています。(来年度のサテライト校の設置方針については、3ページをご覧ください。)

そして、新たな絆づくりを

テレビ会議システムを活用した授業の実践

県教育委員会では、矢祭町、鮫川村の7校の小学校において、テレビ会議システムを利用した交流授業や授業研究、交流学习会等を実施し、中山間地域の児童の学習意欲や社会性の向上を図る「中山間地域連携事業」を進めてまいりました。

現在、福島県内の他の公立学校でもこのシステムが利用可能となりました。相双地区サテライト校でも、サテライト校の教職員の情報共有化や生徒間のコミュニケーション機会の確保などに利用されています。



関岡小学校における授業の様子

11月1日は「ふくしま教育の日」、11月1日から7日までは「ふくしま教育週間」です。「ふくしま教育の日」関連行事について、詳しくは福島県教育委員会ホームページをご覧ください。 [HP](#) [福島県教育委員会](#) [検索](#)

日常生活からはじめましょう 放射線の影響から子どもたちを守るために

東京電力福島第一原子力発電所の事故以来、保護者の皆様から放射線に関するお問い合わせが数多く届いています。現在、校庭表土の土壌改良や除染等、放射線量を低減する対策が行われていますが、日常生活において子どもたちが受ける放射線量を減らすためには、基本的な生活習慣を身に付け、規則正しい生活をすることも大切です。また、放射線に関する正しい知識を持ち、冷静な行動をとるように心がけてください。



「ほこりを払う」「手洗いうがい」「お風呂」「掃除」
(参考:「今、子どもたちのためにできること～放射能から子どもたちの心身の健康を守るために～」平成23年7月 福島県災害対策本部パンフレットより)

福島県災害対策本部では、7月に放射線対策パンフレットを作成し、学校等を通じて配布しました。年齢に応じて放射線に関する知識や対応方法が書かれています。パンフレットの内容は福島県災害対策本部のホームページに掲載されています。
保護者用 http://www.pref.fukushima.jp/j/04_web.pdf
幼児用 http://www.pref.fukushima.jp/j/01_web.pdf
小学生用 http://www.pref.fukushima.jp/j/02_web.pdf
中学生用 http://www.pref.fukushima.jp/j/03_web.pdf

子どもたちの学校生活から少しでも放射線の影響を少なくするために、福島県教育委員会では、次のような取り組み等を行っています。

高圧洗浄機の配備等

小・中学校の校舎等の洗浄を希望する市町村に高圧洗浄機等の購入費用の一部を補助しています。また、県立学校については、校舎等の洗浄を行うため、7月に高圧洗浄機等を整備しました。夏休み中には、雨樋の下や側溝などの洗浄が実施され、放射線量の低減が図られています。



高圧洗浄機による除染の様子

校庭の表土改善

6月に県立学校全校に対する放射線量のモニタリング調査を実施し、1時間あたり1マイクロシーベルト以上の県立学校について6月下旬から8月末にかけて校庭等の表土改善を行い、放射線量が低減されました。また、表土除去を行う市町村に対し、その費用の一部を補助しています。



郡山東高校校庭の表土改善状況(7月21日現在)

ふくしまっ子体験活動応援事業

東日本大震災により、屋外で十分活動できる環境が少なくなっている子どもたちに対して、心身ともに伸び伸びと自然体験活動や交流活動等ができる機会を提供するふくしまっ子体験活動応援事業を平成24年3月末まで実施しています。

●ふくしまっ子体験活動応援補助事業

県内での自然体験活動や交流体験活動等を実施する団体等に補助します。

- ◆補助対象
 - ・幼児・小中学生(特別支援学校を含む)の参加が5名以上の団体
- ◆補助内容(1人当たり)
 - ・宿泊費 1泊7千円を上限とし、7泊まで補助
 - ・交通費(体験活動費を含む) 5千円を上限として補助
 - ・保険料 千円を上限として補助

●移動教室体験活動応援補助事業

県内の小・中学校において教室を移動してよりよい環境のもとで学習等を行う際、必要な経費を補助します。(事業の実施場所は県内とし、原則として学校の住所を置く市町村外とします。)

- ◆補助対象
 - ・県内の小・中学校、特別支援学校小・中学部の児童生徒及び引率者等
- ◆補助内容
 - ・宿泊費 1人当たり1泊7千円を上限とし、延べ30泊まで補助
 - ・交通費及び活動費の一部
 - ・保険料



ふくしまっ子夏の体験活動応援事業の様子

詳しくは社会教育課のホームページをご覧ください。
→<http://www.syakai.fks.ed.jp/>

東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故を受けて避難されている児童生徒の保護者の皆様へ (県外に避難されている皆様もご覧ください)

避難されている皆様には、いまだに不自由な生活を余儀なくされておりますことに、心よりお見舞い申し上げます。

福島県教育委員会では、安心してお子様が福島県で学習できるよう全力を挙げております。

今後、福島県内の学校への転入学の手続き等、ご不明な点は、**県教育委員会のホームページ**をご覧ください。または担当各課までご連絡ください。

福島県教育委員会ホームページ
⇒<http://www.pref.fks.ed.jp/>

平成24年度高等学校入学者選抜日程

- I期選抜
 - 出願書類提出 平成24年1月19日(木)～1月24日(火)
 - 面接等 平成24年2月2日(木)又は2月2日(木)、2月3日(金)
 - 合格内定通知 平成24年2月7日(火)
- II期選抜
 - 出願書類提出 平成24年2月14日(火)～2月17日(金)
 - 出願先変更 平成24年2月21日(火)～2月23日(木)
 - 学力検査 平成24年3月8日(木)
 - 面接等 平成24年3月8日(木)又は3月9日(金)
 - 合格者発表 平成24年3月14日(水)
- III期選抜
 - 出願書類提出 平成24年3月15日(木)～3月16日(金)
 - 出願先変更 平成24年3月19日(月)
 - 面接等 平成24年3月22日(木)
 - 合格者発表 平成24年3月23日(金)

※県外に避難している中学生は、避難前又は転居予定の居住地のいずれかの通学区域の高等学校を選択して出願ができます。
【高等学校入学者選抜についての問い合わせ】
学習指導課 024-521-7776 <http://www.shidou.fks.ed.jp/nyusi/24nyusi/24joho.htm>



県外からの転入学について

●小・中学校の場合

転居予定の市町村の教育委員会へご相談ください。(県教育委員会のホームページに連絡先が掲載されています) → <http://www.pref.fks.ed.jp/sinsai/sityouson.htm>

●高等学校の場合

転入を希望する県立高校の転入学試験を受験し、転入学を許可される必要があります。なお、次の場合は転入学試験が免除となります。

- ①震災前に在籍していた福島県立高等学校に戻るために転学する場合
 - ②震災に伴う避難等の事情により、高校への入学を辞退し他県の高校に入学した生徒が、入学を辞退した福島県立高等学校へ転学する場合
- 転入学を希望する場合は、**避難先で在籍している高等学校**にお問い合わせください。(※転入学試験は希望先高校の定員の欠員の状況によっては実施されないこともあります。)

【転入学についての問い合わせ】
学習指導課 024-521-7796

平成24年度サテライト校設置の方針

各サテライト校については、以下のとおり、集約を進めます。

- 小高商、小高工 → 相馬市か南相馬市(検討中)
- 双葉、富岡(国際コミュニケーション、福祉・健康)、双葉翔陽 → いわき明星大学
- 浪江 → 本宮高校
- 原町、相馬農業 → 自校へ復帰
- 相馬農業・飯館校 → 福島明成高校
- 浪江・津島校、富岡(国際スポーツ) → 現在と同じ

集約に伴い、保護者のもとを離れる生徒の宿泊施設の確保や他の高校への転入学試験の実施等を検討しています。また、県立高等学校の生徒募集定員については、震災に伴い県内外に避難している中学生が高等学校への入学の機会が得られるよう配慮しております。

なお、平成24年度の県立高等学校、県立特別支援学校及び県立中学校の募集定員については、10月14日に公表いたしました。

平成24年度県立学校の生徒募集定員は下記のホームページに掲載しています。
http://www.keiei.fks.ed.jp/botei/top_botei.html

【サテライト校についての問い合わせ】
学校経営支援課 024-521-7763
http://www.keiei.fks.ed.jp/satellite/satellite_2.pdf

1万人の笑顔!ふくしま総文

「文化部のインターハイ」と呼ばれる第35回全国高等学校総合文化祭が、8月3日から7日まで、県内4市2町を会場に開催されました。

會津風雅堂で上演した総合開会式での構成劇「ふくしまからのメッセージ」では、震災に苦しみながらも、それを乗り越え前へ進む高校生のリアルなメッセージを、劇や音楽とともに表現し、会場は大きな感動に包まれました。

15の部門大会では、全国トップクラスの高校生による発表、演奏等が披露されました。高校生の力は、復興に取り組むふくしまを全国に発信しました。

総合開会式構成劇をインターネットで公開中!

ふくしま総文

検索



秋篠宮同妃両殿下並びに佳子様がご覧になりました



次年度開催の富山県の生徒と交流